

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	老年看護学実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対象学年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各施設
担当教員	早川直美 他	実務経験とその関連資格	看護師として病院、高齢者福祉施設、児童福祉施設に勤務			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>老年期の健康障害をもった患者の看護を実践できる能力を養う。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1) 実習評価は実習日数の3分の2以上を出席したものを対象とする。 2) 評価は実習の全ての経過を対象とし、評価表に基づいて行う。 3) 実習目標の達成状況ならびに以下のことを踏まえ総合的に評価を行う。 ①実習出席状況 ②事前学習 ③実習記録 ④実習態度</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院 根拠と事故防止からみた老年看護技術 医学書院</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>実習前の事前課題、看護過程に取り組む</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>実習要項を熟読し実習準備を十分にしておいて下さい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
1 日 目	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟の日課、週間予定などの情報を収集することができる。・受け持ち患者とのコミュニケーションや観察、記録などから情報を収集することができる。 		病院資料	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・病院・病棟オリエンテーション ・受け持ち患者の決定、挨拶、受け持ち患者へ説明と同意、情報収集 ・受け持ち患者とのコミュニケーション ・1日の振り返りと翌日の計画について発表 				
2 3 日 目	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・患者と意図的なコミュニケーションを図り必要な情報を収集することができる。 ・病態と照らし合わせての知識、技術を活用する。・「危険防止確認シート」を用い高齢者の生活行動に潜んでいるリスクと対処方法について述べる事ができる。 		各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち患者との効果的なコミュニケーション ・情報収集 ・バイタルサイン測定 「危険防止確認シート」発表 				
4 日 目	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の対象理解-全体像の把握と老年看護技術の想起を行うことで2週目からの実習につなげることができる 		各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 学内実習 ・実習担当教員の指導のもと、3日間で得た情報のアセスメント、看護上の問題、全体像の作成を行う。 ・実習に必要な看護技術の演習を行う。 				
5 ~ 8 日 目	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の日常生活行動を観察し、できない日常生活行動の援助について考え実施できる。 ・病態と照らし合わせての知識、技術を活用することができる。 ・自己の実習を評価し後半に向けての課題を明確にすることができる。 		各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集・中間カンファレンス(5/7日目)(看護計画発表) ・受け持ち患者への日常生活援助を実習計画に基づき実施 ・中間評価(6日目) ・カンファレンス日以外は1日の振り返りと翌日の計画について発表し意見交換、指導を受ける 				
9 ~ 日 目	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の日常生活行動を観察し、できない日常生活行動の援助について考え実施できる。 ・病態と照らし合わせての知識、技術を活用することができる。 			事前課題、看護過程に取り組む	

